

ID：

患者氏名：

様

	入院当日	入院2日目～手術前日		手術当日	月	日	術後1日目	術後2～4日目	術後5日目～11日目	術後12日目～21日目程度(退院)					
	月	日	月	日	手術前	手術後	月	日	月	日～月	日	月	日～月	日	
目標	入院中の経過がわかる。		手術までの経過がわかる。 心身ともに手術を受ける準備ができる。			痛みのコントロールが できている。		歩行訓練が出来る。		歩行距離をのばす。食事をむせることなく 摂取することができる。			食事のとり方、退院後の過ごし方が わかる。		
説明 指導	看護師より入院中の オリエンテーション (説明)を行います。 		医師から手術の説明を行います。 承諾書や輸血同意書にサインをいただきます。 看護師より術前オリエンテーションを行います。 リハビリ、嚥下リハビリテーションのオリエン テーションを行います。 			ご家族に医師から手術 後の説明をします。		離床やリハビリの説明を します。肺炎にならない ように痰をだしてくださ い。また、なるべく早期 に歩いたほうが回復が早 まります。 		集中治療室で治療を行 います。経過良好でし たら、4日目に胸部に挿 入している管を抜去 し、一般病棟に転室し ます。		食事を開始して徐々に 食事量を増やしていき ます。むせないように 気を付けて、よく嚥ん でゆっくり時間をかけ て食べてください。 		退院前に栄養士が食事指導を行います。	
治療 処置 点滴	歯科にて口腔内のケアを 行います。		24時間点滴をします。		6時頃、血圧脈拍、体温 などを測定します。		手術後は食事が十分にとれるまで点滴をします。								
							場合によっては人工呼 吸器を装着します。		人工呼吸器を使用してい る場合にははずします。		排液が減少したら、胸の管を抜きます。 歩行が安定したら、尿の管を抜きます。				
検査	手術にむけて血液検査、 X線撮影、心電図、CT の検査等を行います。		血液検査、尿検査（24時間尿を袋に貯めていただきます）をします。 場合によっては食道造影検査や上部消化管内視鏡検査を行います。 					血液検査、レントゲンがあります。				適宜血液検査、X線撮影があります。			
								5日目に声帯と嚥下の検査をします。また、食道 造影検査をしてよければ食事を開始します。							
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続内服とします。 中止する薬がある時は説明いたします。		日中にマグコロールP 21時にセンノサイドと いう下剤を内服します。		術前に常用薬を指示通 り内服します。				小腸に入っている管から薬と栄養を投与します。水分摂取開始後、医師の指示により内服薬を再開します。 						
生活 行動 安静度	特に制限はありません。禁煙です。 		8：10に、主治医・看 護師と手術室へ移動し ます。ご家族も同伴で きます。それまで病室 で安静にしていいただ きます。		ベッド上で安静にして いただきます。 下肢の静脈血栓予防の ためフットポンプで足 のマッサージをし ます。		ベッドの横で座ったり、 立つ訓練をします。ベッ ドの横で足踏みしたり、 ICU内を歩きます。		歩行距離をのばします。一般病棟に戻ったら、安静度に制限ありません。 						
排泄			日中に浣腸をします。						手術室で尿の管が入ってきます。		尿の管を抜きます。転倒に気を付けてトイレまで歩行して ださい。歩行に不安があるときには看護師が付き添います のでおっしゃってください。				
清潔	入浴、シャワー浴ができます。 		ガウン式病衣・T字帯に 着替えます。						体を拭きます。 		体を拭きます。管が抜けたら、シャワー浴が できます。 		入浴ができます。 		
食事	基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、 治療食をお出しすることもあります。		絶食になります。間食は しないでください。水分 は前日まで飲むことがで きます。		何も食べられません。				小腸にはいつている管から栄養を入れます。				退院時に腸の管を抜きます。場合によ っては、外来で抜くこともあります。		
									食事は6日目に造影剤の 検査をしてよければ開 始します。		ゼリー食から五分粥、 全粥と少しずつかたく なります。		ゆっくりよく嚥んで食べてください。 		
その他	院内禁煙となっております。 大部屋での携帯電話の使用はご遠慮ください。			付き添いは必要 ありません。				痛みや気分不快がありましたら看護師にお知らせください。				退院後に異常がありましたらすぐに ご連絡ください。			